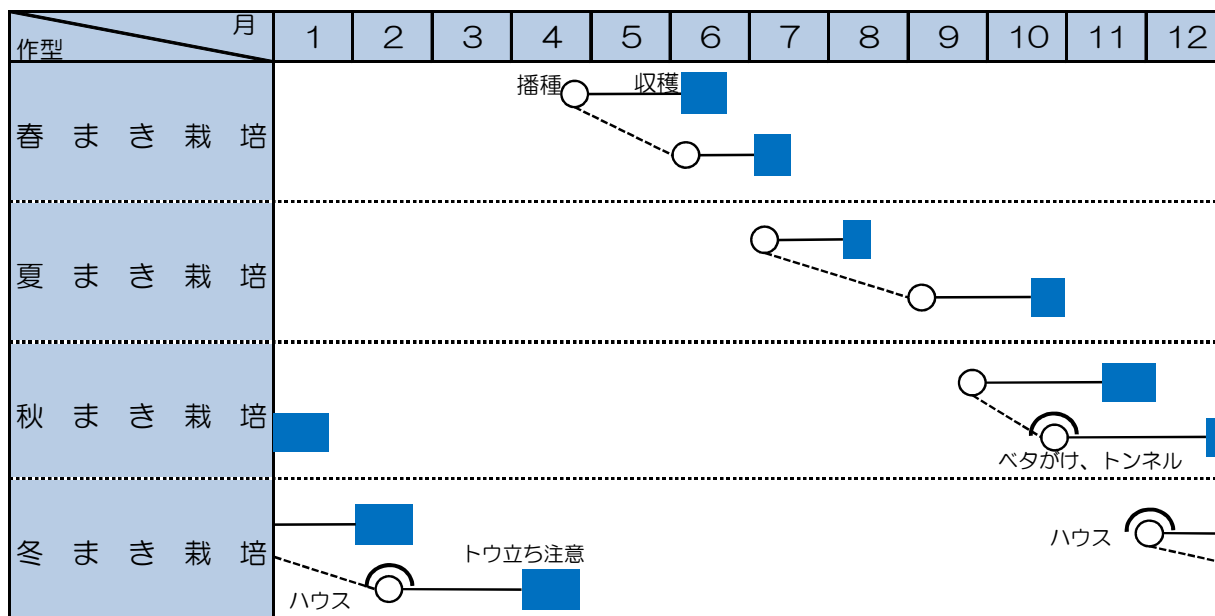


チンゲンサイ (アブラナ科)

おなじみの中国野菜。春～秋まきに適し、
晩秋～早春まきではトウ立ちに注意。



1) 適地

土の種類は特に選ばず、有機質に富んだ排水・日当たりのよい畑が適します。

2) 品種

葉柄の緑色のものをチンゲンサイ、葉柄の白いものをパクチョイといいます。早生、中生、晩生種があります。秋播きはどの品種でも利用できますが、春播きは早生種、トンネルを利用した晩秋播きや冬播き、早春播きは中・晩生種が適します。

3) 作り方

【圃場の準備】播種の1か月前に1㎡当たり堆肥2kg、苦土石灰100g、BMようりん30gを施用して耕耘します。播種の1週間前には1㎡当たり高度化成肥料80gを施用し、耕耘して幅120cmの畝を立てます。

【播種・間引き】条間15～20cm、株間10cmの4条播きにし、種子が隠れる程度に覆土します。間引きは生え揃った頃から適宜行います。間引き後は、軽く中耕します。また、セルトレイで育苗して、本葉2～3枚で定植することもできます。ポリマルチを張ると草が抑えられるとともに、生育が早まります。

【収穫】草丈15～20cmの頃に収穫します。春播きはトウ立ちしやすいので、収穫が遅れないようにします。秋播きは収穫期が低温のため生育が遅く、収穫適期の幅が長くなります。

4) 病虫害防除

夏は虫がつきやすいので、日よけを兼ねて白寒冷紗のトンネル掛けをします。キスジノミハムシ、アブラムシ類やアオムシが発生しますので、早めに防除しましょう。